

コーパスに基づく言語学教育研究報告 8

コーパスを用いた 言語研究の可能性 IV

峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司(編)



CbLLE
Corpus-based Linguistics
and Language Education

2012

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
東京外国語大学(TUFS)大学院総合国際学研究院

コーパスに基づく言語学教育研究報告 8

コーパスを用いた 言語研究の可能性 IV

峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司(編)



2012

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
東京外国語大学(TUFS)大学院総合国際学研究院

目次

学長挨拶	亀山 郁夫	i
コーパスに基づく言語学教育研究拠点	峰岸 真琴	iii

1. GCOE 論文

サルデーニャ語の名詞における2格体系の痕跡 —sorre「姉妹」の成立過程を中心に—	金澤 雄介	1
フィンランド語のMA不定詞格形について —現代の書き言葉における使用実態—	坂田 晴奈	19
アラビア語エジプト方言の属格標識 bitaːf	榮谷 温子	33
上海語変調ピッチ下降部の音声実現と音韻解釈	高橋 康徳	51
中国語の可能補語“{-得/不}+了(liao)”の意味と構文的位置の 関連性	福田 翔	73
南琉球宮古方言の音韻構造	青井 隼人	99
借用語に現れる重子音の通言語的研究	大滝 靖司	115
有対自動詞の両用動詞化のメカニズム —「場主語構文」の観点からの分析—	小柳 昇	129
現代日本語における「～がる」の統語的な特徴	韓 金柱	153
「V-サセテオク」に関する一考察 —使役性ともくろみ性の観点から—	高 京美	165
「程度進行」の意味をもつ複合動詞「V1+こむ」の意味と構造 に関する考察	陸 俊秀 (モクジュンス)	185
イランにおける日本語教育 —テヘラン大学を中心に—	アタシゴレスタン マリヤム	209

2. GCOE 研究ノート

タイ語における限定表現「tɛ̃ɛ」の意味・用法に関する考察	モンコンチャイ アッカラチャイ	223
コーパスに基づく『外来語言い換え提案』の評価	金田 拓	233
接触場面の自然会話における「なんか」の機能のポライトネス 効果—ディスコース・ポライトネス理論の観点から—	黄 美花	247

3. ICCI 論文

Self-repairs in Spontaneous Monologue: Comparative study between native Japanese speakers and Spanish learners of JFL	Emi TAKAMORI	263
Variability in Articles in Japanese EFL Learners' Spoken and Written Production: A Learner Corpus-Based Approach	Mariko NOMURA	281
Use of Multiword Verbs by Non-advanced EFL Learners: Focusing on Common Verb + Particle Combinations	Tomio UCHIDA	303
Development of Japanese EFL College Students' English Writing Skills: An Examination of Subordinators in Essays	Mayumi KITAMURA	325
Chinese Learners' Use of English Existential Sentences: A corpus-based study	Hui-ping ZHANG	337

4. ICCI 研究ノート

Criteria Features for English: An approach from Threshold 1990	Kosuke DOI	351
Bilingual dictionaries in L2 writing: a corpus-based approach	Taku KANETA	359
The Development of the Use of 'Because-clauses' by Japanese High School Students	Ryoji MURAKOSHI	369
A Corpus-based Study of the Use of Verbs as an Indicator of Cognitive Process in Chinese EFL Coursebooks	Wen-he LI Chao-wen LAN	377
Using Corpus Technology to Assist in Vocabulary Acquisition of ESL Learners	Yan ZHOU	389

索引	397
----	-----

資料

国際会議・ワークショップ	401
講演会	410
研究会	416
合同ゼミ	423
出版物	437

1. GCOE 論文

2. GCOE 研究ノート

3. ICCI 論文

International Corpus of Crosslinguistic Interlanguage (ICCI) プロジェクト

本プロジェクトは、Global COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」（拠点リーダー：峰岸真琴）の言語情報学班のもとで行われた学習者コーパス構築のプロジェクトで、投野由紀夫をリーダーとする。プロジェクトは英語初学者の英作文データを7ヶ国・地域（イスラエル、オーストリア、ポーランド、スペイン、中国、香港、台湾）から収集・電子化したものである。約6,000名の英語学習者の作文約60万語からなる。本論集の第1部は2011年3月に実施予定で東日本大震災により中止となった国際シンポジウムでの発表論文に加筆修正したものである。

4. ICCI 研究ノート

資 料



コーパスに基づく言語学教育研究報告 8 2012年3月8日発行
コーパスを用いた言語研究の可能性Ⅳ

発行：東京外国語大学大学院総合国際学研究院
グローバル COE プログラム
「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

編集：峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司
編集・校正：松澤 水戸

印刷：中西印刷株式会社

コーパスに基づく言語学教育研究報告 8

コーパスを用いた言語研究の可能性 IV

峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司(編)

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
東京外国語大学(TUFS)大学院総合国際学研究院